

# 富士の子だより 第2号



静岡県立富士特別支援学校

令和 4年 5月 20日

## <令和4年度 グランドデザインの紹介>

静岡県立富士特別支援学校 グランドデザイン 2022

学校教育目標

「富士に向かって はばたく たくましく 生きる人」を育てる

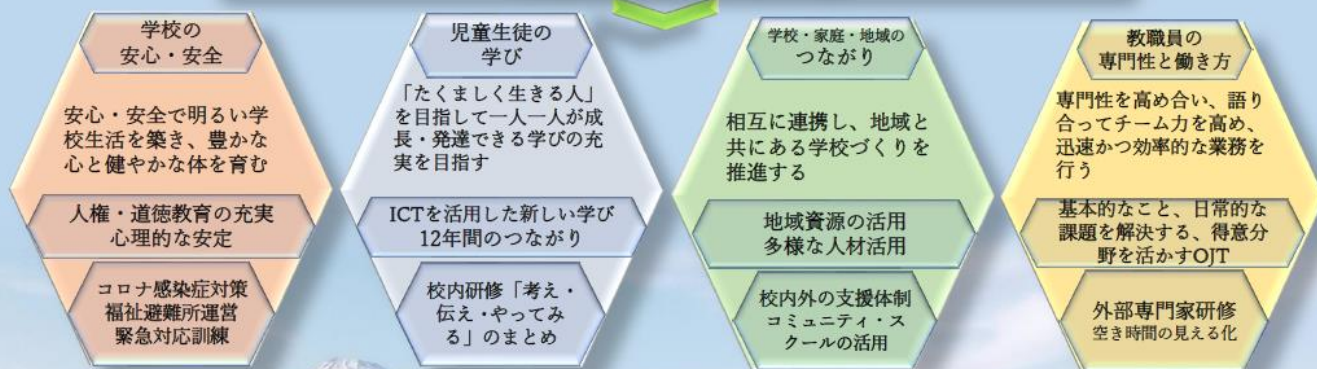
目指す児童生徒像

「分かる・できる」を増やす  
(知識・技能)

考え・伝え・やってみる  
(思考・判断・表現)

みんなで学び、進んで行動する  
(主体的に学習に取り組む態度)

### 目標具現化の4本の柱



学校経営のテーマ「誰もが幸せを感じる学校」  
笑顔あふれ、お互いに尊重し助け合う学校  
共生社会（インクルーシブ）・多様性（ダイバーシティ）を推進する学校  
個人と周囲の人や社会の幸福（ウェルビーイング）をかなえる学校

## 学校教育目標「富士に向かって はばたく たくましく 生きる人」を育てる

学校教育目標をめざして4つの柱を立てて取り組んでいます。

①学校の安心安全 ②児童生徒の学び ③学校・家庭・地域とのつながり ④教職員の専門性と働き方、それぞれの柱でしっかりと学校を支えていけるよう、取組を充実させていきます。

令和4年度の経営のテーマ「誰もが幸せを感じる学校」です。

「笑顔あふれ、お互いに尊重し合う学校」「共生社会・多様性を推進する学校」

「個人と周囲の人や社会の幸福をかなえる学校」

を目指して、子供たちの成長を家庭や地域の方々と共に支え、子供たちの成長に喜びと幸せを共に感じることをできるよう取り組んでいます。

続いて、小学部、中学部、高等部、訪問教育の紹介をします。

## <ホームページのお知らせ>

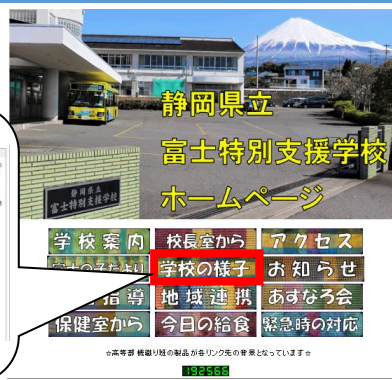
富士特別支援学校のホームページでは、重要連絡だけでなく、児童・生徒の活動や授業の様子も発信しています。

『学校の様子』をクリックして、御覧ください。

ホームページは、『静岡県立富士特別支援学校』

と検索してください。

QRコードはこちらです！



## <小学部の紹介>

小学部主事 稲木 龍元

### 学部目標 『生活の基礎・基本となる力を身につける』

小学部では、基本的な生活習慣をはじめ、基礎的な力を育てることを目標としています。学習に向かう心と身体を土台として、自分から活動に取り組もうとする気持ち、自分の思いを伝える手段をもつこと、人との関わりを広げ友達と一緒に活動することなど、楽しく学校生活を過ごす中で、将来につながる力を少しずつ育てていきます。



「B課程1年生なかよしの会」にて、『おめでとう』の文字カードを掲げ、お祝いの気持ちを伝えました。

### <目指す児童像>

- 「分かる・できる」を増やす。(知識・技能)
  - ・興味関心、見通しをもつ。 ・基本的な生活習慣を身につける。
- 考え、伝え、やってみる。(思考・判断・表現)
  - ・自分で選び、ものや人に働きかける。 ・自分の気持ちを伝え、相手の思いを受け入れる。
- みんなで学び、進んで行動する。(主体的に学習に取り組む態度)
  - ・友達と一緒に活動する。 ・毎日楽しみに登校し、自分から活動する。

## <中学部の紹介>

中学部主事 竹下 哲之

### 学部目標 『生活の自立と社会参加への基本となる力を身につける』

中学部は、学年で取り組む学習だけでなく、「作業学習」「音楽(TYUON)」など縦割りで学習もあり、クラスの仲間や先輩・後輩といった集団での学び合いを通して、社会性を学んでいきます。

中学部の学習の特徴のひとつとして、『学校のためのみんなのため』に作業学習をはりきったり、『地域の方(施設)のため』に清掃活動がんばったりといった学習があります。地域の文化・産業等を学び、自分たちの住んでいる富士市・富士宮市の魅力を知る「地域学習」にも取り組んでいきます。「フェイス◎トウ◎フェイス」で、相手の方から直接自分たちの取り組みを指導していただいたり、評価していただいたりすることを通して、活動への意欲や達成感を高めていきます。また、そうした活動を通して人間関係の広がりも期待しています。

### <目指す生徒像>

- 「分かる・できる」を増やす
  - ・できることは自分で取り組む。
- 考え、伝え、やってみる
  - ・適切なコミュニケーションの方法を身につける。
  - ・互いを認め合う。
- みんなで学び、進んで行動する
  - ・目的に向かい行動する。
  - ・自分の役割を果たす。



4月には、「1年生を迎える会」がありました。先輩が、1年生に作業学習の実演紹介をしたり、中学生の生活『ふじとくルール』を発表し、それについての掲示物をプレゼントしたりしました。

## <高等部の紹介>

高等部主事 山川 裕子

### 学部目標『社会参加と社会自立を目指し、働く力を身につける』

高等部は、小・中・高等部がある特別支援学校の中では「大人の社会への出口」であり、大人の社会から見れば「大人の社会への入口」にあたる学部です。社会参加と社会自立を目指し、生徒の良さや強みを生かし、生徒の気持ちを尊重しながら、生徒と保護者が望む生活に近づけるように、高等部教員は共に取り組んでいます。

高等部の生徒たちにとっては、学校生活最後の3年間ともなる学部です。体育祭や修学旅行、富士特マルシェ、日々の授業、部活動などで、青春を謳歌して欲しいと思っています。

### <目指す生徒像>

生徒たちは以下のような姿を目指して、各種学習に取り組んでいます。

#### ○働くための心や体をつくる

- ・毎日元気に登校できる人。早寝早起きなど自分でできる体調管理を行う人。

#### ○地域で生きる力を身につける

- ・自分から気持ちの良い挨拶や返事ができる人。

#### ○コミュニケーションの力を社会で発揮する

- ・自分の気持ちを、素直に分かりやすく、誰にでも伝えられる人。

#### ○人と協力して助け合う

- ・友達や先生、家族等周りの人と協力できる人。

#### ○やりがいをもって何事も最後までやり通す

- ・好きなこと、夢中になれることを見つけて続けられる人。
- ・家庭での手伝い等人に貢献することを毎日続けられる人。

#### ○将来の生活に見通しと目標をもつ

- ・校則や条例、家庭でのルールやマナーを意識して守れる人。



近隣店舗の御協力のもと、生徒たちに活躍の場「富士特マルシェ（作業実演、製品販売）」を提供していただいております。ありがとうございます。

## <訪問教育の紹介>

訪問教育主任 井上 ゆかり

訪問教育は、様々な事情で本校へ通学することが難しい児童生徒のお宅に教師が出向いて授業を行っています。今年度の訪問教育の児童生徒は5名で、小学部1年生と4年生、中学部2年生にそれぞれ1名と中学部3年生に2名です。家庭での授業は、学校と同じように始めの会から始まり、月の歌や体操をした後、造形活動や音楽活動、絵本の読み聞かせなどを行っています。また、年に2回集合学習を計画し、みんなで集まって共同作品作りや音楽会をしています。通学生とはスクーリングやリモート授業で触れ合う機会を設けています。



音楽活動の様子



造形活動の様子



集合学習の様子



スクーリングの様子

\*学校のスロープの訪問教育の掲示コーナーに、作品や授業の様子を掲示してありますので、来校された際にぜひご覧ください。